11月25日（水曜日）「イエス・キリストの名」

【新改訳 2017】

使徒　3・1-10

「すると、生まれつき足のなえた男が運ばれて来た。……男は何かもらえると思って、ふたりに目を注いだ。すると、ペテロは、『金銀は私にはない。‥‥・ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい』と言って‥‥・。」（2-6 節）

これは、ペテロとヨハネが午後三時の祈りのために、宮に上った時のことでした。施しを求めたこの不幸な男に、彼らは金銭ではなく、ナザレのイエス・キリストの御名によって癒すという祝福を与えました。

主イエスが昇天され、地上ではお姿は見えず、肉声も聞こえませんが、主の御名によってご自身を現されたのです。御名によって聖霊も働かれ、主のみこころを成就するみわざをされるのです。

それは、天下に唯一の救い主の御名であり（4・12　参照）、罪人であるわたしたちの祈りを聖なる神にとりなす大祭司としての御名です。パウロが、すべてのことを御名によってなし、

神に感謝しなさいと勧めている（コロサイ 3•17 参照）のもそのためでしょう。

～祈り～

主よ。あなたの御名を賛美します。あなたの御名のきよさと権威とお力をもっと知り、信じ、御名によって事を成すことができるように助けてください。

【学びのために】

コロサイ 3•17「あなたがたのすることは、ことばによると行いによるとを問わず、すべて主イエスの名によってなし、主によって父なる神に感謝しなさい」。